

Tebra キー / タグの電池交換

T0047-6

使用電池：コイン型リチウム電池 CR2032

電池はカメラ店、家電販売店などでお買い求めになれます。

電池交換のしかた

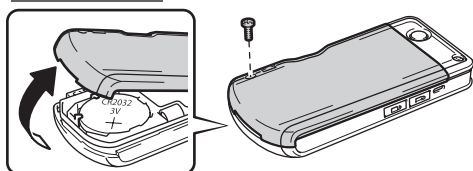
取りはずした部品の紛失、破損に注意しながら行ってください。

1 一度ドアノブなどの金属物を触って、体内の静電気を逃がします。

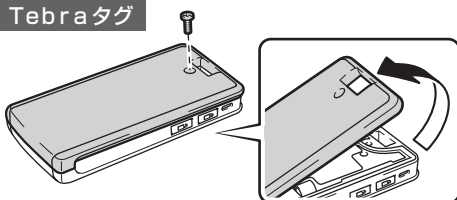
2 裏面のネジを取りはずし、カバーを取りはずします。

1 番のプラスドライバーを使用してください。(ホームセンターなどでお買い求めになれます)

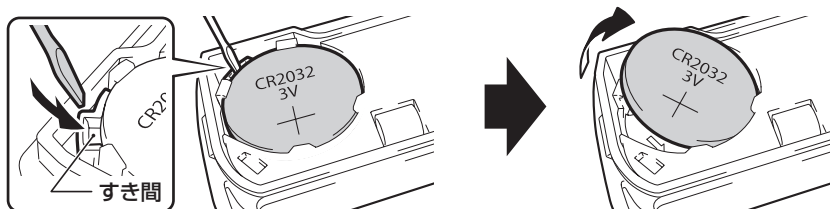
Tebra キー 溝部にコインなどを差し込み取りはずす



Tebra タグ

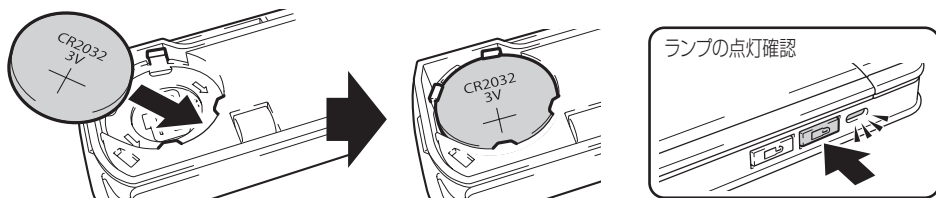


3 ドライバーなどをすき間に差し込み、起こすようにして古い電池を取りはずします。



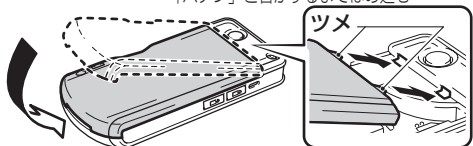
4 新しい電池を差し入れ、動作確認をします。

(+) が上になるように取り付けます。

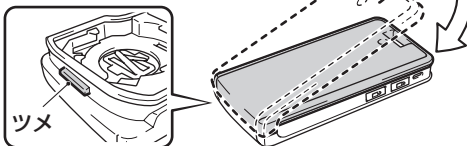


5 カバーを元にもどし、ネジを締め込みます。

Tebra キー ツメを差し込み、浮いている側をキー本体に「パチン」と音がするまではめ込む



Tebra タグ ツメを合わせて閉める



電池切れ警告について

Tebra キー／タグの電池残量が少なくなると、以下のようにランプでお知らせします。

	操作	動作状況	ランプ
Tebra キー／タグ	リモコン操作時	ボタン操作 (Tebraキー／タグ電池少)	動作確認ランプが赤色点灯 (0.5 秒)

- 電池交換後は、電池切れ警告が現れないことを確認してください。

⚠ 危険	<ul style="list-style-type: none"> ●電池及び取りはずした部品をお子さまに触らせたり、誤ってお子さまが飲み込んだりしないよう、十分注意して下さい。 ●植込み型医療機器（心臓ペースメーカーなど）を装着されている方が使用する場合は、Tebra キー／タグから植込み型医療機器の装着部位を 22cm 以上離して下さい。 電波による医療用電気機器への影響については、担当医師や医療用電気機器製造業者などにご確認ください。
⚠ 警告	<ul style="list-style-type: none"> ●精密な電子部品などを使っていますので分解や改造をしたり、強い衝撃を与えないでください。 感電や故障の原因となります。また、分解・改造した物は保証対象外となります。 ●Tebra キー／タグを水に濡らしたり、濡れた手で扱わないでください。 感電や故障の原因となります。 ●散水による水洗いは避けてください。また、雨露の直接かからない場所でお使い下さい。 感電や故障の原因となります。
⚠ 注意	<ul style="list-style-type: none"> ●ご入庫の際に渡された Tebra キー／タグに内蔵されている電池は、動作確認用の電池です。 はじめてお使いになる前に電池交換されることをおすすめします。 ●指定の電池（リチウム電池 CR2032）をご使用ください。 ●Tebra キー／タグの電池寿命は約 2 年間（施錠 / 解錠を 1 回として、1 日 10 回使用した場合）ですが、電池切れにならなくても 2 年ごとに新しい電池と交換して下さい。 電池の液漏れや腐食により故障の原因となる場合があります。 ●Tebra キー／タグは常時電波を受信しているので、全く使用しない場合でも電池を消耗します。また、強い電波を受信し続けた場合に電池を著しく消耗する事がありますので、テレビ・パソコンなどの家電製品の近くに長時間放置しないでください。 ●電池交換する際は、一度ドアノブなどの金属物を触って静電気を逃してから行ってください。また、セーターなど静電気がたまりやすい衣類を着たまま行わないでください。 静電気を体内に帯電させた状態で電池交換を行うと、Tebra キー／タグの部品が故障するおそれがあります。 ●電池交換は電子部品保護のため、濡れた手、汚れた手で行わず、必ず本書の方法にしたがって行ってください。 ●温泉地などの特殊ガス発生地域、浴室などの多湿の場所では使用しないでください。故障の原因となります。 ●周辺の電波環境（各種電気機器・ノイズなど）により、Tebra キー／タグの作動範囲が変わる場合があります。 Tebra キー／タグを携帯電話などと一緒に携帯しているときや Tebra キー／タグが金属製のものに覆われたりしているときは、正常に作動しないことがあります。 ●航空機に Tebra キー／タグを持ち込む場合は、航空機内で Tebra キー／タグのボタンを押さないでください。 また、カバンなどに保管する場合でも、簡単にボタンが押されない様に保管してください。 ボタンが押されると電波が発信され、航空機内の運行に支障をおよぼすおそれがあります。 ●キーを鍵穴に差し込んだ状態で必要以上の力を加えないでください。 キーが変形して抜き差しできなくなるおそれがあります。

Clavis

URL: <http://www.clavis.jp>

株式会社シブタニ クラビス事業部



HPはこちら